



おいしさのみなもと

**FEED ONE**

# 2024年3月期第2四半期 決算補足説明資料

2023年11月8日

フィード・ワン株式会社

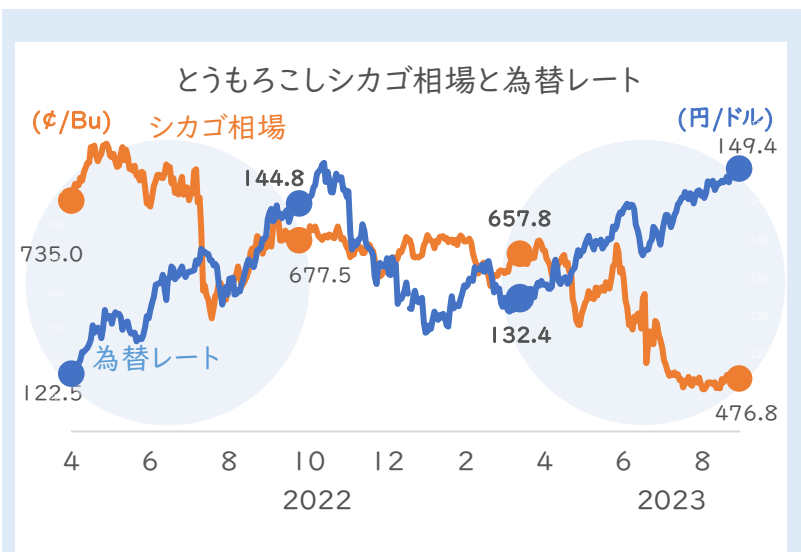
東証プライム 証券コード:2060

## 1. 輸入原料の価格動向

畜産飼料原料の約50%をとうもろこしが、水産飼料原料の約40%を魚粉が占める

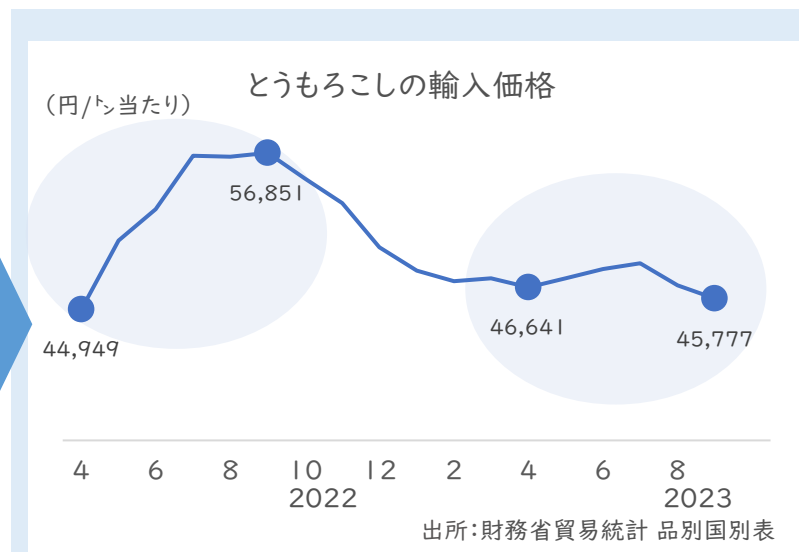
為替レートは日米金利差等により円安進行も、生産見通しの上振れによりシカゴ相場が軟化し、とうもろこし輸入価格は、前年同期を下回る

魚粉輸入価格は円安に加え、主産国ペルーでの第1期漁(4~8月ごろ)が資源保護の観点から中止となり前年同期を大きく上回る



為替レート: **前年同期比 5.1%上昇**

とうもろこしシカゴ相場: **前年同期比 21.8%低下**



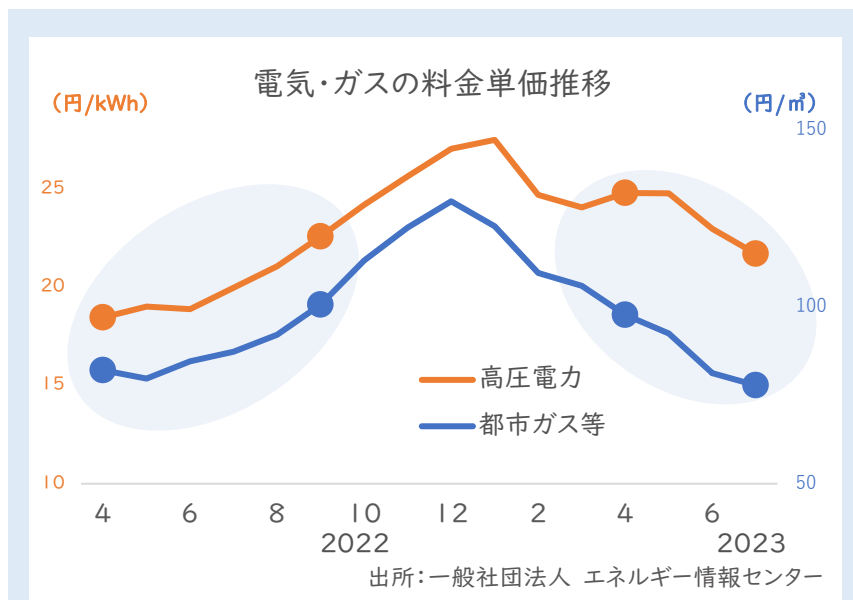
とうもろこし輸入価格: **前年同期比 10.8%低下**



魚粉輸入価格: **前年同期比 12.4%上昇**

## 2. エネルギーコストの動向

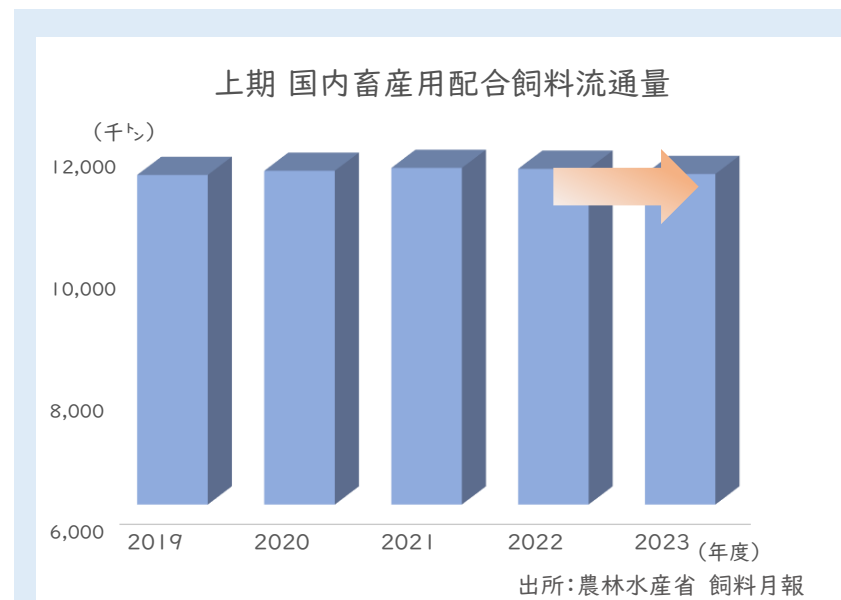
電気料金単価は発電コストの上昇により上昇  
 ガス料金単価は液化天然ガス(LNG)価格の低下により微減



電力料金単価：前年比 17.8%上昇  
 ガス料金単価：前年比 0.5%低下

## 3. 畜産用配合飼料流通量の動向

前年に猛威を振るった鳥インフルエンザの影響はあるも、豚熱からの回復による飼養頭数の増加等により、全体では概ね横ばいで推移



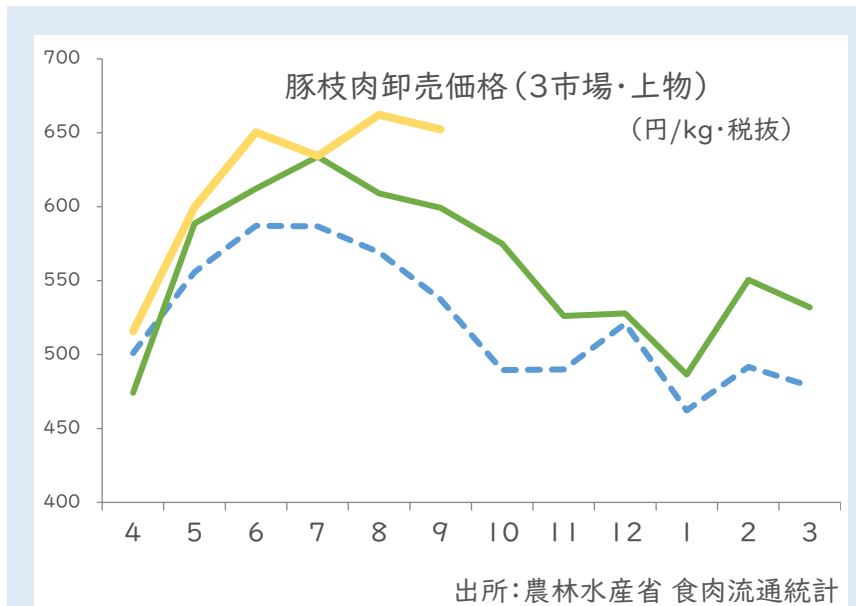
畜産用配合飼料流通量は概ね横ばいで推移  
 ※2023年9月実績は未公表のため過去3年の平均値で試算

## 4. 畜産物相場の動向

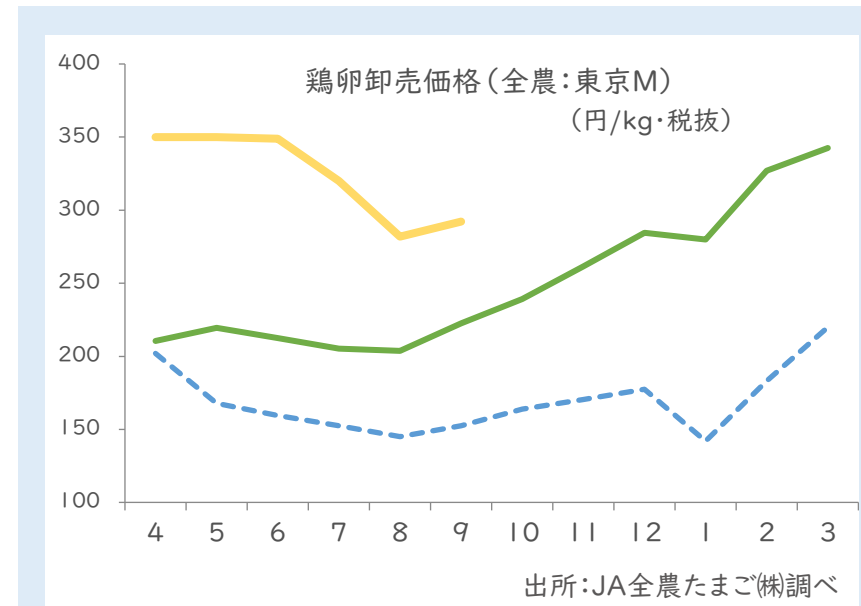
食品事業の売上は豚肉と鶏卵の販売が約9割を占める

豚枝肉相場は記録的な猛暑により出荷頭数が減少したことから、前年同期を上回る

鶏卵相場は鳥インフルエンザからの回復傾向により出荷量は戻りつつも、前年同期を大きく上回る



豚枝肉卸売価格: **前年同期比 5.6% 上昇**



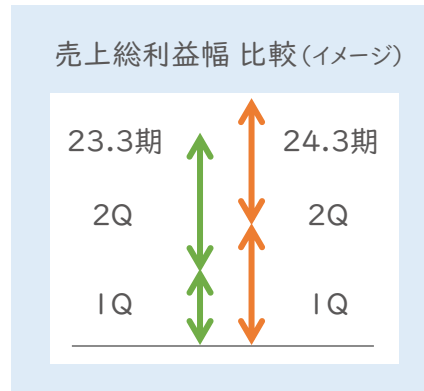
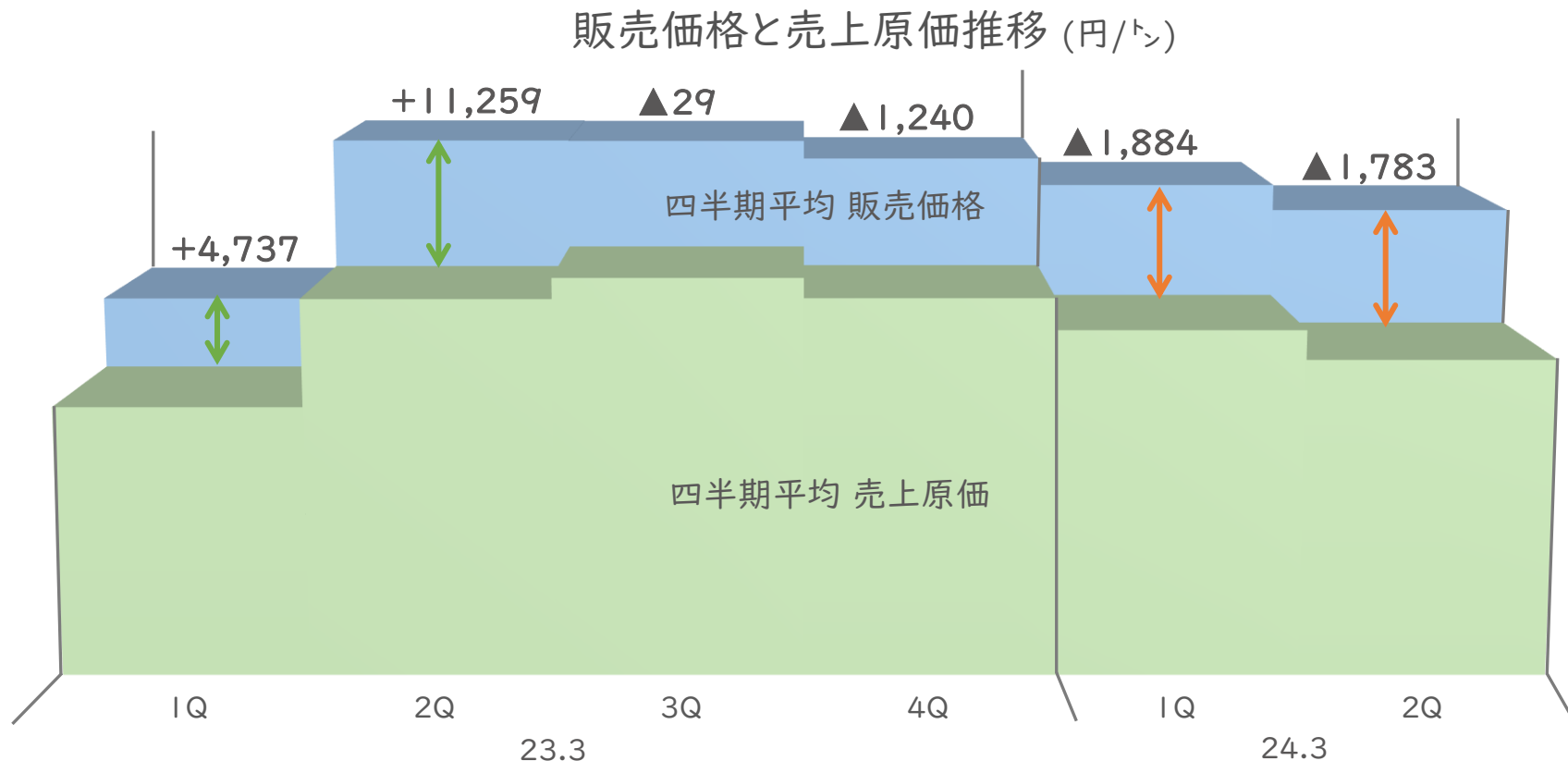
鶏卵卸売価格: **前年同期比 52.2% 上昇**

# 畜産飼料 販売価格と売上原価推移



FEED ONE

販売価格は前期第2四半期をピークに、以降4期連続で低下しているが、上期の売上総利益幅は前年同期比以上を確保



- ▶ 売上原価における原材料費率は8割強、原材料の5割を輸入とうもろこしが占める
- ▶ 販売価格は原材料相場・為替・海上運賃を踏まえて、四半期毎に改定を行う

# 2024年3月期 第2四半期 決算概要



FEED ONE

原材料価格やエネルギー価格の高騰等による売上原価上昇を、販売価格改定等によりカバーし、増収・増益

(百万円)

	2023.3期 上期	2024.3期 上期		
			増減額	前年同期比
売上高	144,890	156,645	+11,755	+8.1%
売上原価	134,386	142,821	+8,435	+6.3%
売上総利益	10,504	13,824	+3,320	+31.6%
販管費	10,603	10,980	+376	+3.6%
営業利益	▲ 99	2,844	+2,943	-
経常利益	103	3,171	+3,068	30.8倍
親会社株主に帰属する 四半期純利益	▲ 29	1,989	+2,019	-

## 前年同期比

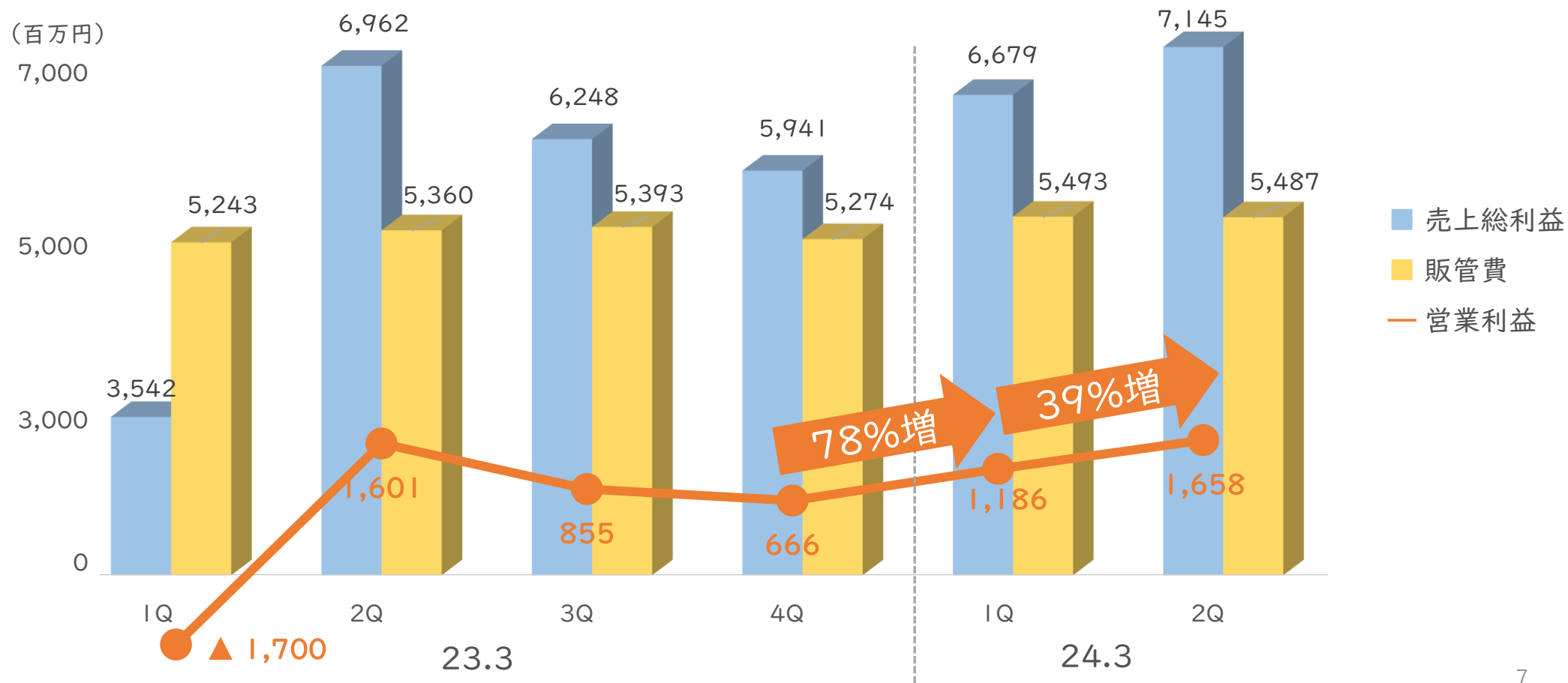
- 売上高  
畜産飼料の販売数量増加および販売価格改定、水産飼料・食品事業の販売価格改定により増収
- 売上原価  
原材料費やエネルギー関連費用などが大幅に増加
- 販管費  
配合飼料価格安定制度の積立金や物流費の増加

# 四半期ベース業績推移



FEED ONE

飼料事業・食品事業において収益強化し、第1四半期は78%、第2四半期は39%の増益



# 販管費

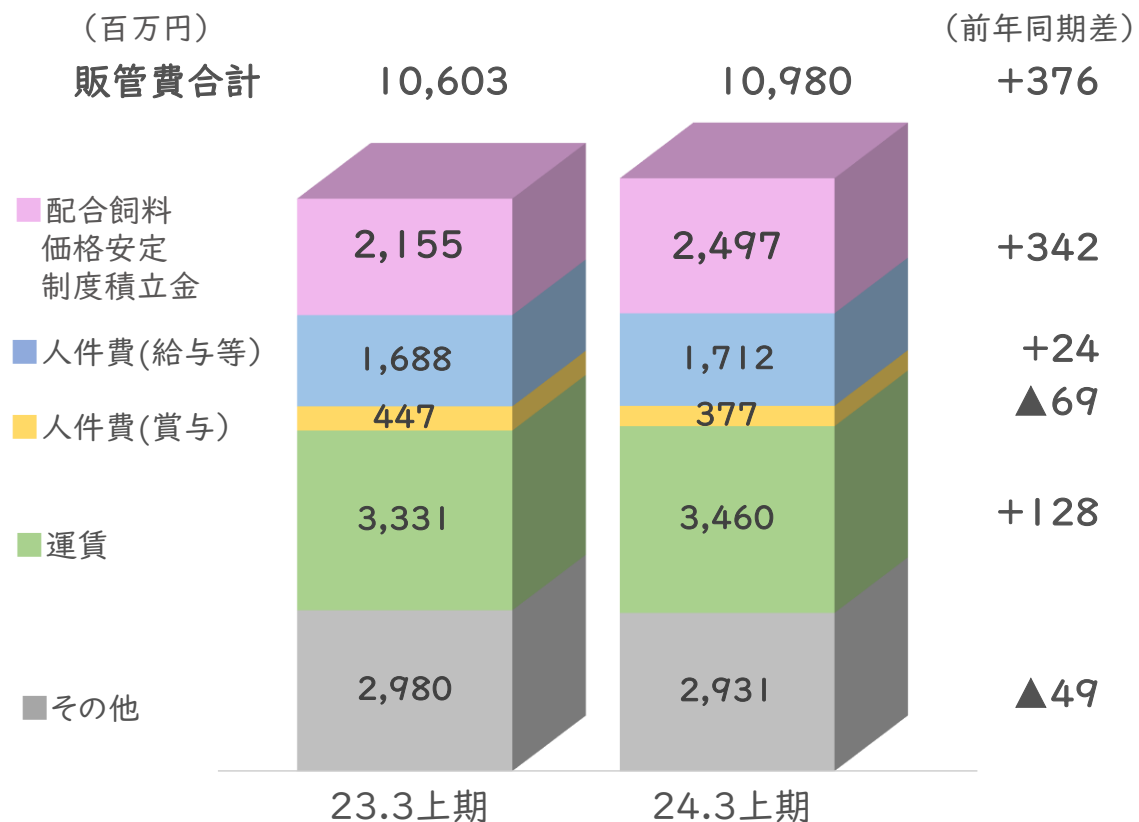


FEED ONE

配合飼料価格安定制度の積立金及び運賃が増加

その他では、活動費やシステム関連費が増加も、

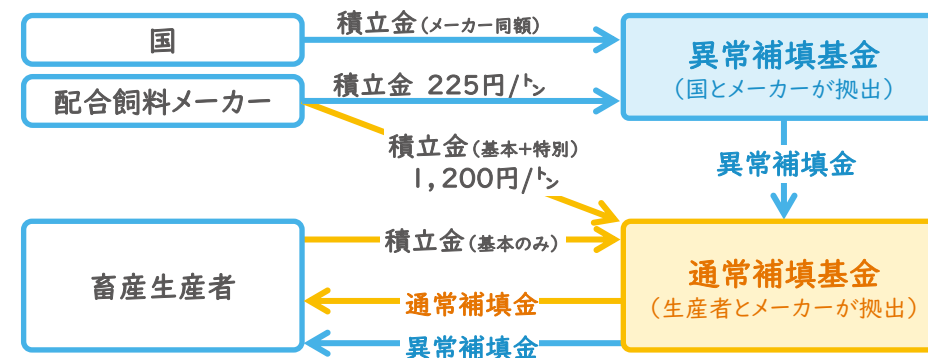
貸倒引当金繰入額が減少



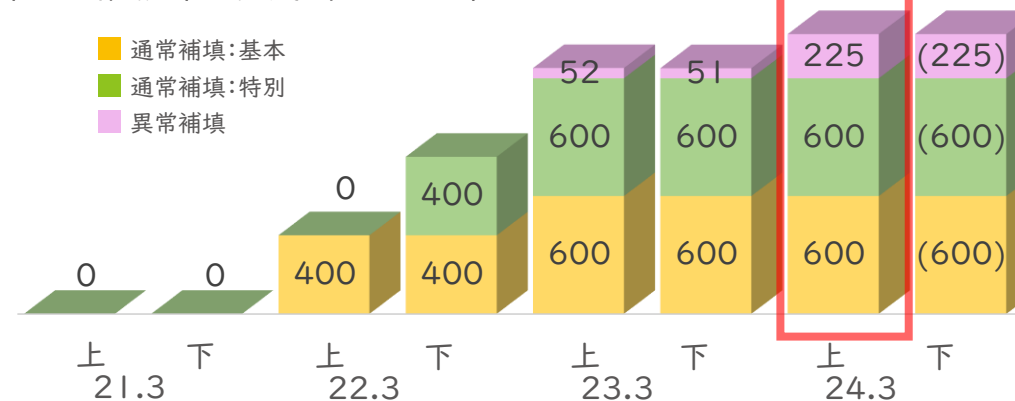
## 【参考】配合飼料価格安定制度

- ▶ 輸入原料価格の上昇が畜産経営に及ぼす影響を緩和する目的
- ▶ 異常補填金発動で23.3期から異常補填積立金が発生。また同期に大幅な輸入原料価格の上昇により異常補填金が増加し、積立金の単価が増額

制度の仕組み(例:24.3期上期)



積立金推移(配合飼料メーカー)





# 2024年3月期 第2四半期 セグメントの状況



FEED ONE

飼料事業は販売数量増や販売価格改定により増収・増益、食品事業は価格改定が進み黒字転換

(百万円)

	2023.3期 上期	2024.3期 上期			
		増減額	前年同期比		
飼料事業	売上高	124,241	132,472	+ 8,230	+6.6%
	セグメント利益	1,175	3,670	+ 2,495	3.1倍
食品事業	売上高	19,466	22,876	+ 3,409	+17.5%
	セグメント利益	▲ 201	277	+ 478	—

※セグメント利益:営業利益

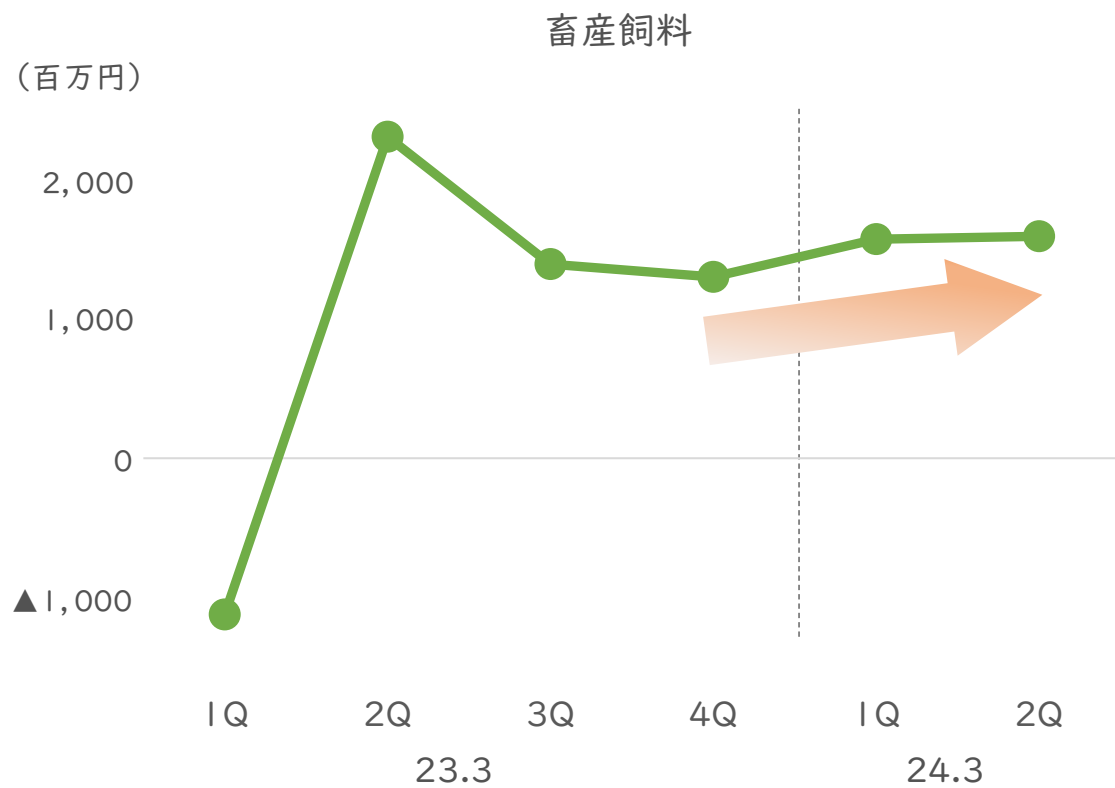
販売数量	2023.3期 上期	2024.3期 上期		
		前年同期比	内訳	
畜産飼料	173.6万ト	178.8万ト	+ 3.0%	採卵鶏用+1%、ブロイラー用+5%、豚用+7%、牛用+0%
水産飼料	5.7万ト	5.4万ト	▲ 4.7%	海水魚用▲3%、淡水魚用▲22%

# 主要事業 四半期ベース業績推移（営業利益）

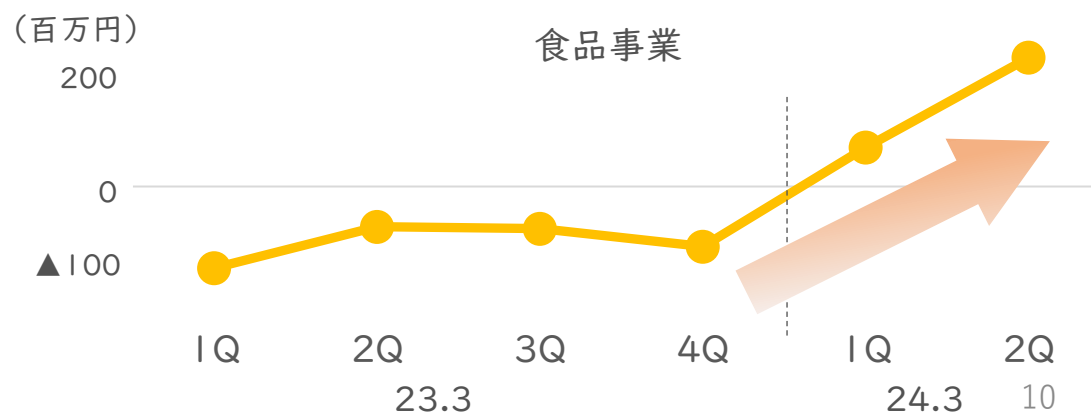
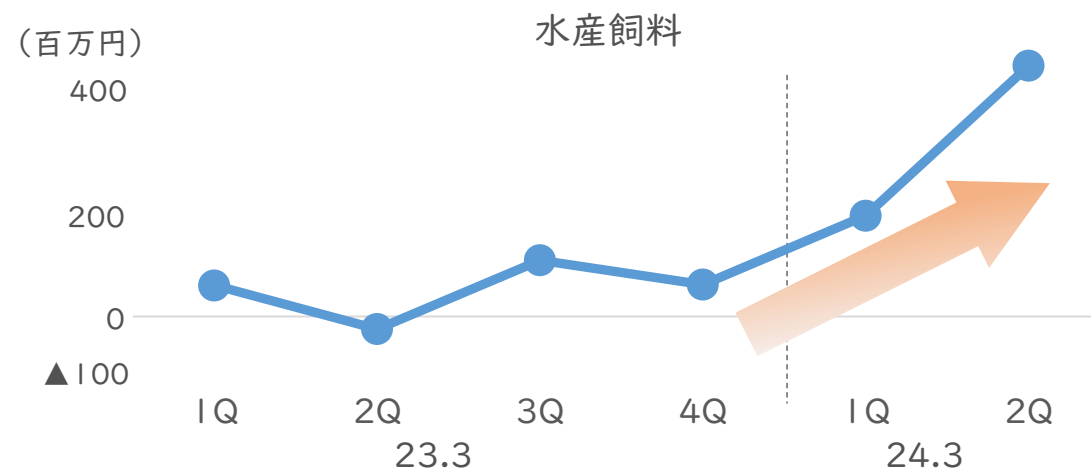


FEED ONE

安定的な収益基盤のある畜産飼料は定期的な価格改定に加え、エネルギーコスト高騰分の値上げを実施し、更に収益力が強化



課題であった水産飼料では大幅な価格改定を実行し、食品事業では主に鶏卵事業にて、量販店等販売先の販売条件の見直しが進み、収益が改善



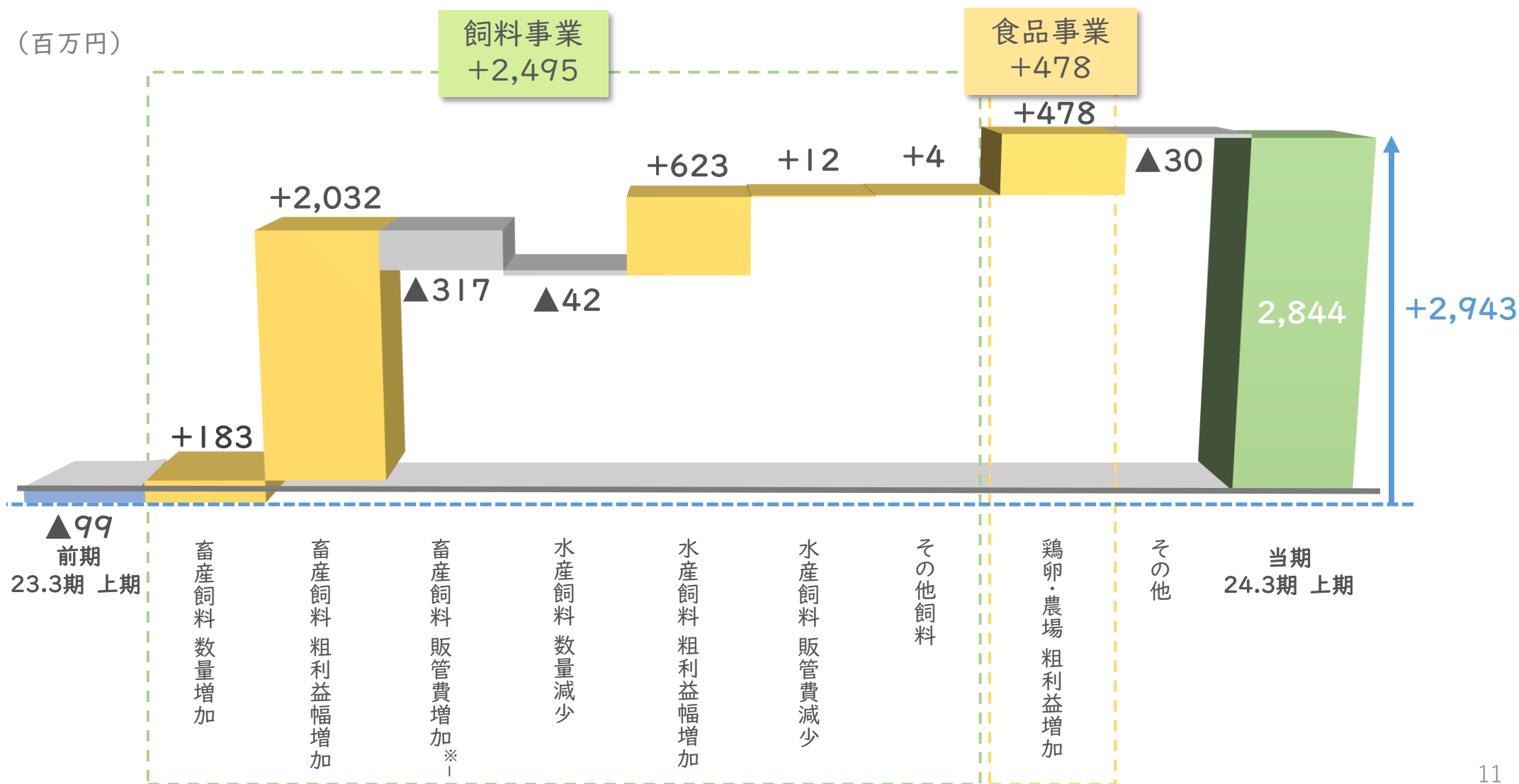
# 営業利益 増減要因



FEED ONE

## 飼料事業・食品事業の粗利益増加により増益

(百万円)



※I 配合飼料価格安定制度の積立金増加▲342百万円

# 2024年3月期 第2四半期 連結財務状況

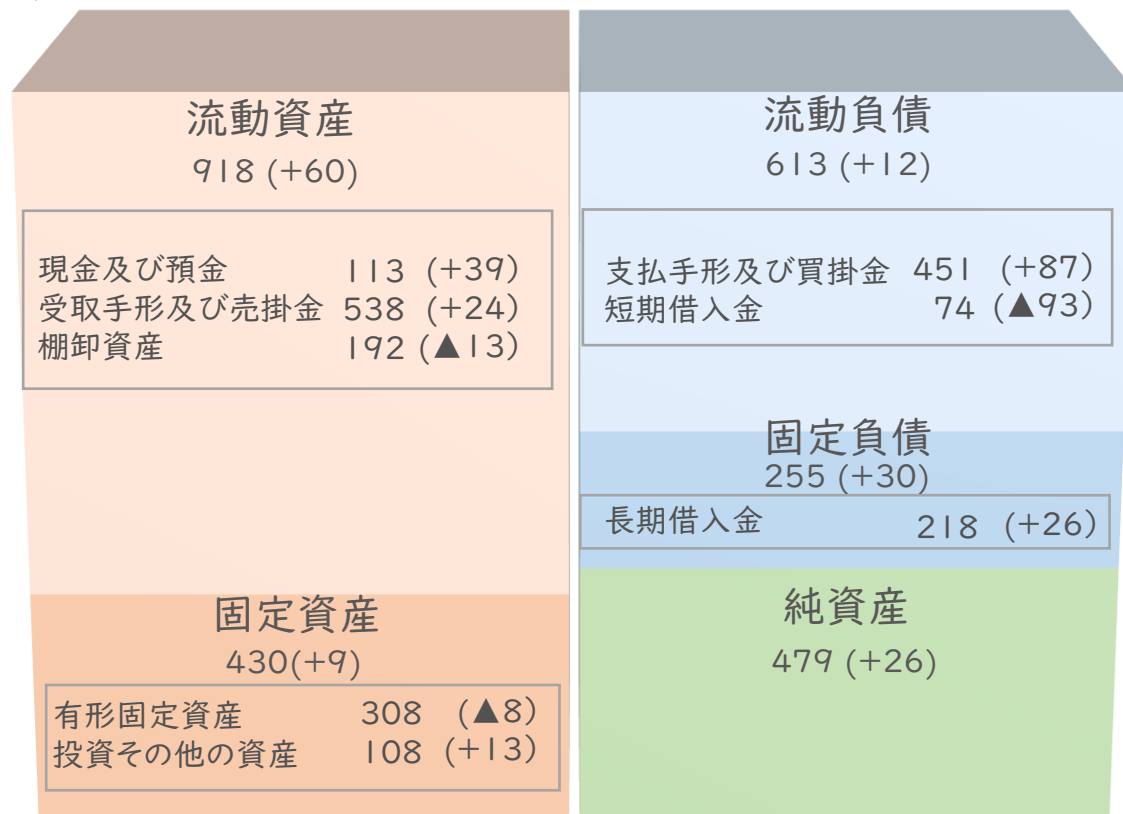


FEED ONE

9月末日が休日のため借入金は一時的に減少

連結貸借対照表(23.3期末差)

(億円)

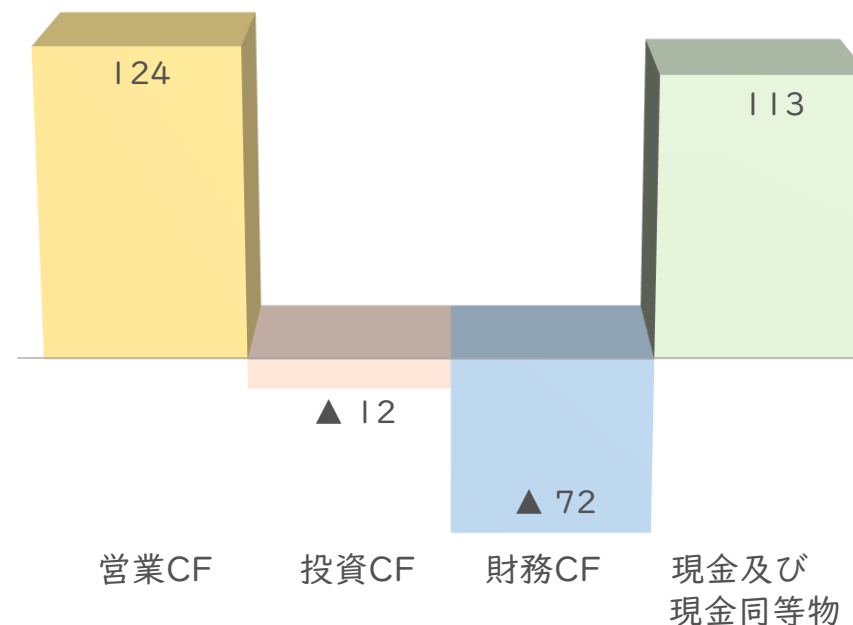


総資産 1,348 (+69)

※2023年9月末は休日

連結キャッシュ・フロー計算書

(億円)



営業CF：当期利益 29、運転資金 71

投資CF：設備投資▲12

財務CF：借入金返済▲67

現金及び現金同等物：前期末増減額+39



# 2024年3月期 業績予想

---

# 2024年3月期 業績予想 ~期初予想から変更なし



FEED ONE

(百万円)

	2023.3期	2024.3期		2024.3期 上期	
		期初予想	前期比		進捗率
売上高	307,911	323,000	+4.9%	156,645	48.5%
営業利益	1,422	3,500	2.5倍	2,844	81.3%
経常利益	1,711	3,500	2.0倍	3,171	90.6%
親会社株主に帰属する当期純利益	1,030	2,300	2.2倍	1,989	86.5%

販売数量	2023.3期	2024.3期		
			前期比	コメント
畜産飼料	358.6万ト	361.7万ト	+0.9%	採卵鶏用▲0%、ブロイラー用+2%、豚用+2%、牛用+0%
水産飼料	10.0万ト	10.3万ト	+2.9%	海水魚用+3%、淡水魚用▲1%

## 1. 下期の事業環境

### ● 原材料価格

第3四半期は低下、第4四半期は上昇見込み  
とうもろこし シカゴ相場は緩やかに軟化後、第4四半期に上昇  
為替レートは継続的に円安の進行

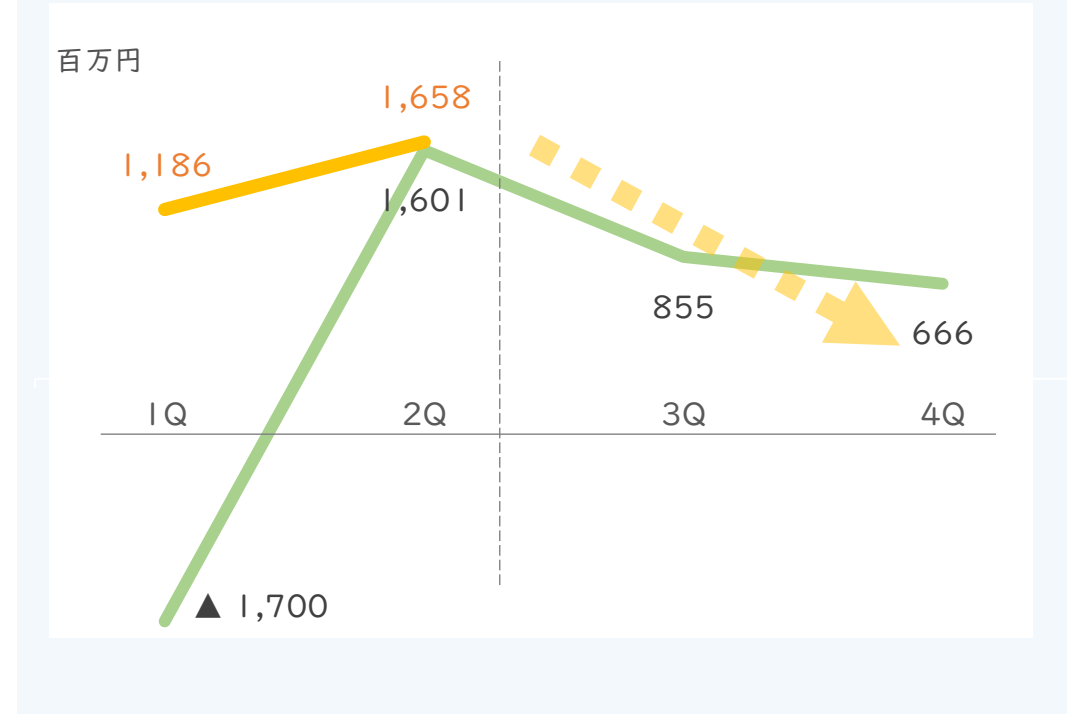
### ● 販売価格

第3四半期は原材料価格低下に沿った価格改定  
第4四半期は飼料代やエネルギーコスト高騰にともなう生産者の  
収益悪化により、価格交渉が難航する可能性があり、不透明

### ● 配合飼料価格安定制度積立金

期初予想通り1,425円/トン ※前期下期1,251円/トン

四半期ベース 営業利益推移



→ 第4四半期の先行き不透明感により、業績予想は期初予想から変更なし  
業績予想の修正が必要な場合は、適時開示規則等に基づき速やかに開示します



おいしさのみなもと

# FEED ONE

本資料に記載された意見や予測等は資料作成時点での当社の判断であり、

その情報の正確性を保証するものではありません。

また、様々な要因の変化により実際の業績や結果とは異なる可能性があることをご承知おき下さい。

当資料に関するご質問・お問い合わせにつきましては、弊社のIR代表アドレス宛  
([ir@feed-one.co.jp](mailto:ir@feed-one.co.jp))にご連絡ください。